

モジュール4 「分析結果の読み解き方：課題抽出」

108

課題抽出の手順：HPIPの場合

1. 収集情報の整理
2. プロジェクト活動の確認
 - ① 現場レベルでは誰がどのようにプロジェクトに参加するのか
 - ② 農家は？
 - i. どのような活動に参加するのか
 - ii. 農家はそれらの活動でどのような役割を期待されているのか
 - ③ 農業普及員は？
 - i. 農家を支援する能力/支援体制は充分か
3. 収集情報に基づくプロジェクト活動の予測
4. 課題の特定

109

モジュール4では、ジェンダー分析調査の調査結果取りまとめ、そして調査結果に基づく課題の抽出方法について見ていきます。

ここでも、HPIPを念頭に話を進めていきます。

学習資料3の読み込み

以下の資料を読み込みましょう。

学習資料3

現地調査により収集された情報

110

この資料は、モジュール3で検討した「ジェンダー分析調査」を実施した結果、収集された情報です。これらの資料を読み、まずは、どのような情報が収集されたのかを確認してください。

学習資料 3

現地調査により収集された情報

インタビュー結果

1. 県農業事務所作物担当官（男性）

農業省では、ジェンダー戦略文書が作成されていて、女性農家が研修や普及活動に男性同様にアクセスできるよう取り組むことの重要性が明記されている。それと共に、最近はこのドナーも支援対象農家グループの条件として、女性農家がグループに含まれている事を挙げるので、大抵の農家グループが女性農家をメンバーとしてうけいれているし、普及員に対しても農家グループを組織する際は、必ずジェンダー・バランスに配慮するよう自分は指導している。だから、HPIP がジェンダー・バランスのとれた農家グループを選定してほしいと自分に申し入れてきても、対応は十分に可能である。ジェンダーとはジェンダー・バランスの事を指しているのだと思う。自分は、過去ジェンダー研修を受けた事はないし、男女数を一緒にする以外にどのようなジェンダー主流化の手段があるのか見当がつかない。

この地域は、A 国民の主食であるメイズの一大産地である。農地が 100 エーカー（約 40ha）を超える大規模農家から 2 エーカーに満たない零細農家まで長年メイズを生産してきている。しかし、近年隣国からメイズが輸入されるようになったことで、メイズの生産者価格が落ち込んでいるので、園芸作物生産を始める農家もかなり出てきている。県としては、労働集約的であるものの、数か月で収穫でき、現金化できる園芸作物の生産を貧困削減の面からも推進していく予定である。この地域では男性よりも女性の方が、むしろ農作業に従事している。ただし、自分はこの県に配属されてから、まだ 3 カ月なので、詳しい状況は普及員に聞いてほしい。

2. 県農業事務所家政担当官（女性）

本省からは家政担当官がジェンダー活動を兼務するように言われている。農業省が実施しているジェンダー研修に参加したことはない。年 1 回、各地から 20 名程度が参加して実施されているようだが、自分の順番はまだ回ってきていない。ジェンダーについては、大学で授業を受けているので、どのようなものかは承知している。しかし、自分は、栄養改善、HIV/AIDS 啓発、薬物乱用防止、改良かまど普及など、たくさんの仕事を抱えており、なかなかジェンダーに係る活動を実施することができない。それに、県にはジェンダー活動に関する予算はない。時々、他の分野の担当官がドナーからの資金で普及員研修を実施することがあるが、そんな時に、10 分から 20 分程度、ジェンダーについて話すようにしている。どのような話をするかは、自分が決めている。本省から何らかの指示があった事はない。この地域のジェンダー面の問題はやはり女性の過重労働だろう。薪拾いに一日 1 時間以上かける女性もいる。

3. 農業普及員（男性）

この地域の主要作物はメイズである。どこに行ってもメイズが栽培されている。自分たちは収益性の高い園芸作物の生産を勧めているが、先進農家と言われる人たちを除けば、メイズに比べ手間暇がかかるため関心を示さない農家は少なくない。多くの世帯では、女性が庭先で自家消費用の野菜を栽培している。もう少し、大きな土地で栽培すれば、これらの野菜も結構良い値段で販売できるのだが、あまりにも収穫量が少なく、それこそ女性が近くのイチバで自分たちが持てる程度の量を販売して、小遣い銭を稼ぐ程度である。ジェンダーが何を指すのか良く分からないけど、最近では、農家グループを組織する際、必ず男女のバランスを注意するよう、区農業事務所からも指示されるし、女性の社会的活動促進、権利拡張と言う事なんだと思う。ただ、このコミュニティにも伝統も習慣もあるし、あまりそれを崩すようなことはねえ。上からは自分たちが農家グループを訪問した際、ジェンダーについて話すよう言われているけれど、正直言って、何を話せば良いのかわからない。実は、何年か前に、1日だけNGOが主催したジェンダー研修に出たことがあるんだけど、かえって混乱しちゃったよ。ジェンダーって、男女の社会的役割ってことらしいけれど、だから何なのかな。

農業普及員（女性）

この地域の女性は本当に忙しい。水汲み、薪拾いに始まって、調理、子供の世話等、家事全てを担っているだけではなく、農作業だって、その多くを女性が行っている。もちろん、真面目な男性はいるし、耕起等力仕事は男性が担っている。でも、多くの男性は、午前中だけ、畑に出て、お昼になれば、さっさと村の中心部にあるカフェや飲み屋に直行して、仲間と日がな一日政治の話をしている。だけど、土地は男性のものだから、全ての作業を女性が行ったとしても、収穫物は全て男性のもので、お金を手に入れるのも男性。この地域の主要作物であるメイズだって、収穫物の全てを男性が握っていて、自家消費用に1袋とか2袋、女性に渡す程度。後は、自分だけで仲買人と交渉して売っている。女性にお金を渡すとロクなことがないと言って、申し訳程度にわずかな食費と、石鹸とかを買うための小遣い銭を渡すだけ。どうしてもお金が足りなくて、夫がいない時に、家に貯蔵してあるメイズを、数キロ単位でこっそり持ちだして、イチバで売ったりしている人も多い。男性の多くは晩御飯のおかず代を妻がどうやって工面しているのか、考えたこともないと思う。

4. 農業普及員（男性）

この地域の農作業の多くを担っているのは女性。自家消費用作物の8割、換金用作物の5割の農作業は女性が行っていると思う。例えば、自分が農家の畑を訪問したりするのは女性だよ。男性と話そうとしたら、前もって連絡していないとつかまらない。だけど、研修だ、ミーティングだっていうと参加するのは時間のある男性だよ。もちろん、最近では自分たちの働き掛けやドナーからの依頼で以前と比べれば、女性の研修参加は増えている。でも、それはそれで問題がないわけではない。女性が研修に参加して、何か技術を習得しても、実

際に農地で実践できないんだよ。夫は、妻が習ってきた技術を取り入れようとしない。妻の判断で出来ることは、お金のかからないシンプルなことだけ。それだって、余計な事をして、夫から文句を言われる可能性が高いから、必ずしもそう言ったシンプルな技術だからって、実践されるわけではないよ。この傾向は農家グループについても言える。意思決定は少数の男性が中心となって行って、決定された活動を実施するのは女性。本省やドナーの要請で農家グループは女性メンバーを増やしているけれど、命令されるだけで、メリットが感じられないと、活動に来なくなってしまいう女性も少なくない。自分としては、2週間に一度くらいはグループを訪問して指導をしたいけれど、業務量も多いし、特に、交通手段がなかなか確保できなくて、思ったようには支援できていない。

5. 農業普及員（女性）

女性は農作業に従事しているけれど、収穫物やそこからの収益は男性のものだから、日用品を買うお金にも困っている事が多い。だから、大規模農家で賃労働に従事したりしている。例えば、除草時は、大規模農家はたくさんの人手が必要だから、多くの女性が働いている。もちろん、同じようにメイズを栽培しているから、同じ時期に自分の家の農地の除草もしなければならぬけれど、それは後回しね。除草が遅れて、収穫が減っても、彼女たちは気にしないわ。収穫が増えても、彼女たちの取り分が増えるわけではないし、それよりも、賃労働に出て、日当が手に入れば、子供たちが学校で使うノートを買ってあげたりできるしね。

6. 農業普及員（男性）

研修を行っても、なかなか新しい技術は根付かない。男性は研修に参加しても、農作業の多くをしているのは女性。男性はああしろ、こうしろと指示は出すけど、自分の手はあまり動かないし、何故そうしなければならないのか説明しないから、突然わけのわからない事を言われても、女性是对応できない。特に、手間暇がかかる作業が増えると、多忙な女性は嫌がる。品質の良い園芸作物の生産には手間がかかるから、難しいよね。自分はジェンダーが何を指すのか良く分からないが、女性のことだと思う。なので、自分のような普及員よりも県の家政担当官が対応すべきだろう。

7. コミュニティ・リーダー（男性）

この地域の多くの世帯が貧困に苦しんでいる。メイズの価格は低いし、それにもかかわらず肥料の値段は高騰している。園芸作物は数カ月で収穫、現金化できるからそのメリットは大きい。それに、メイズの栽培は忙しい時期が決まっていて、それ以外の時期は、みんなぶらぶらしているので、その時間を園芸作物生産に回せば、ちょうど良い。是非、この地域を支援してほしい。プロジェクトで女性の研修参加を義務付けるなら、自分が必ずみんなを納得させる。誰だって、農作業の多くを女性がしている事は知っているのだから。

8. 女性グループ・リーダー（女性）

この地域の男性の多くは本当に働かない。メイズの場合、通年忙しいわけではないので、繁忙期以外は、やることなくして昼間からぶらぶらしている。女性は家事や子供の世話でいつも忙しい。男性は家のことなど何もしないし、するべきではないと思っている。例えば、男性が一人で家にいる時に、急に雨が降ってきても、外に干してある洗濯物を入れる事すらしない。この地域で貧困は大きな問題で、収入増に結びつくプロジェクトは皆大歓迎だ。

10. 農家グループ代表（男性）

自分たちのグループは7年前に設立された。当初は、頼母子講をしていたが、3年前からグループで小さな農地を借りて、トマト栽培を始めた。そのグループ農地で普及員から指導を受けた後、メンバーはそれぞれの家の農地で実践している。メイズと違い、栽培サイクルが短いので、収入増に直結する事をみんな期待している。現在は、それぞれの世帯が個別に仲買人と交渉したり、近くのイチバに持ち込んで販売しているけれど、これだと、なかなか高く売れないので、今後は、メンバー全員で生産作物の共同出荷に取り組みたいと思っている。また、農業投入財の共同購入等も手掛けていきたい。男性メンバーが15人で女性メンバーは7人である。女性メンバーの多くは未亡人が独身か夫が出稼ぎに出ている。夫婦で参加しているものは現在2組である。女性メンバーの数を増やすために、夫婦で参加するよう奨励するのは簡単だし、女性が研修に参加することも問題ない。ただ、女性は家事が忙しいので、毎回参加するのは難しい場合がある。特に子供が小さい場合は大変である。

11. 農家グループ会計担当（女性）

是非、プロジェクトに参加したい。メイズだけでは生活が本当に大変だし、3年前から始めたトマト栽培も仲買人に買い叩かれるなどなかなか難しい。グループでは、グループ代表を中心に5名のメンバーからなる運営委員会が設置されていて、ここでグループの運営に係る決定がなされる。運営委員会に参加している女性は自分だけである。お金の管理だけは女性に任せた方が良くみんな思っている。一般メンバーの関心は残念ながらあまり高くない。そのため、運営委員会の決定が周知徹底されず、活動がなかなか進展しないことが問題だ。なお、女性が研修に参加することは問題ない。泊りがけの研修であっても、みんな何故彼女が家を空けるのか分かっているわけだから、家のものは反対しないはずだ。但し、家の事、子供の面倒を誰が見るかアレンジする必要があるので、泊りがけの研修については、日程が決まったら、出来るだけ早く教えてほしい。

ハーバードフレームワーク等 PRA 結果（農家グループ実施）

Productive Activities

(Tomato)

Activity	Men's Group		Women's Group	
	Men	Women	Men	Women
Seed Bed Preparation	✓		✓	✓✓
Land Preparation	✓	✓	✓	✓✓
Planting	✓	✓		✓
Weeding	✓	✓✓		✓
Spraying	✓✓		✓✓	✓
Top Dressing	✓	✓		✓
Watering	✓	✓		✓
Pruning	✓✓	✓	✓	✓✓
Harvesting		✓✓	✓✓	✓
Grading	✓✓	✓	✓✓	✓
Marketing	✓✓	✓	✓✓	✓
Controlling of income	✓✓	✓	✓✓	

Reproductive Activities

Activity	Men's Group		Women's Group	
	Men	Women	Men	Women
Cooking		✓✓		✓✓✓
Washing		✓✓		✓✓✓
Cleaning	✓	✓✓	✓	✓✓
Fetching water		✓✓		✓✓
Fetching firewood		✓✓		✓✓
Grinding		✓✓		✓✓
Caring for children		✓✓		✓✓
Caring for sick	✓	✓✓	✓	✓✓
Construction/Repair of House	✓✓		✓✓	✓
Taking care of Domestic Animals (dogs)	✓✓		✓	✓

Community Activities

(Men's Group)

Activity	Men	Women	How participate
Community Meeting	✓✓	✓	M: Chairing/ Decision-making F: Decision- making
Funeral	✓	✓	M: Grave digging/ Arrangement/ F: Cooking/ Water fetching
Wedding	✓	✓	M: Preparation/ Dowry Payment/ Decision-making/ Escorting groom F: Cooking/ Decoration/ Escorting bride
Church Services	✓	✓✓	M: Leading service F: more women attend
Fund raising	✓✓	✓	M: Arrangement/ Tent making/ invitation F: Cooking/ Entertainment
School Meeting	✓	✓✓	M: Decision-making F: Decision-making
Community Service	✓✓	✓	M: Construction work F: Carrying water, stones, etc.

(Women's Group)

Activity	Men	Women	How participated
Community Meeting	✓		
Funeral	✓	✓	M: Tent construction/ Grave digging/Chairing/ ecision-making F: Fetch water/ Decision-making
Wedding	✓	✓	M: Planning/ Financing F: Cooking/ Serving/ Washing
Church Services	✓	✓	M: Leadership F: Cleaning
Fund raising	✓		M: Major organizer
School Meeting	✓	✓✓✓	
Community Service	✓	✓✓✓	

Access and Control

(Access)

Resources	Men's Group		Women's Group	
	Who has access to it?		Who has access to it?	
	Men	Women	Men	Women
Land	2	2	2	2
Capital	3	1	4	0
Farming tools	2	2	2	2
Bicycles	3	1	3	1
Cows	2	2	2	2
Donkeys	3	1	3	1
Sheep/Goats	2	2	2	2
Chickens	1	3	0	4
Maize	2	2	2	2
Tomatoes	3	1	2	2
Kales	1	3	1	3
Trees	3	1	4	0

(Control)

Resources	Men's Group		Women's Group	
	Who controls it?		Who controls it?	
	Men	Women	Men	Women
Land	3	1	3	1
Capital	3	1	4	0
Farming tools	2	2	3	1
Bicycles	3	1	4	0
Cows	3	1	4	0
Donkeys	2	2	3	1
Sheep/Goats	2	2	2	1
Chickens	1	3	0	4
Maize	3	1	4	0
Tomatoes	3	1	4	0
Kales	1	3	1	3
Trees	3	1	4	0

Daily Activity Calendar

Men's group		Women's Groups	
Time	Activity	Time	Activity
5.00 am	Wake up	5.00am	Milking
6.00am	Milking, feed livestock, take breakfast	6.00am	Cleaning compound, fetching water, wash utensils
7.00am	Take breakfast	7.00 am	Take breakfast, feed livestock
8.00 am-12.00 noon	Work on the farm	8.00 am-12.00 noon	Work on the farm
1.00pm	Take lunch, rest	1.00pm	Cooking, take lunch
2.00pm	Feed livestock,	2.00pm	Clean compound,
3.00-5.00pm	Meet friends	3.00-5.00pm	feed livestock Work on the farm Fetch firewood
6.00pm	Milking, feed livestock	6.00pm	At market, milking
7.00pm	Take dinner	7.00pm	Cooking, take care of children, washing,
8.00pm	resting	8.00pm	assist children do home work
9.00pm -4.00am	Sleeping	9.00 pm	Take dinner, wash utensils
		10.00pm-4.00am	Sleeping
		4.00am	Wake up, lighting fire to cook

1. 収集情報の整理

- どのような情報が集まったのか。

項目	収集情報
カウンターパート機関	
ジェンダー政策・制度	
ジェンダー関連活動	
職員の意識・実務能力	
ターゲット・コミュニティ	
文化・規範	
性別役割分担	
- 農作業・マーケティング	
- 家事労働	
- コミュニティ活動	
意思決定への関与	
プロジェクトに対する関心	
農家グループ	

119

資料は読み込めたでしょうか？

それでは、スライド109の課題抽出の手順に則って、収集された情報の整理・分析をしていきましょう。なお、実際の作業の時間は別にとってありますので、まずは、スライドに沿って、情報整理・分析のための手順を確認するようにして下さい。

それでは、収集した情報を項目別に整理するところから始めます。

文献調査、また多様な手法を用いた現地調査の実施を通じて、様々な情報が収集されることとなります。インタビュー、ディスカッションと言った手法を用いた場合、参加者の話題が多岐に及ぶことが往々にしてあるため、そこで得た情報をきちんと整理することが大切です。特に、性別、立場、また年齢の異なる人たちに話を聞いていますので、同じトピックについても、相反する意見が記録されているかもしれません。それらについても、誰がどのような発言をしたかを含めて整理することで、様々な人たちの視点を理解することが出来ます。

学習資料3にも、調査に参加してくれた行政官、普及員、農家の発言が記録され、分析ツールの結果も示されています。一人の発言であってもその内容は多岐にわたっています。その多岐にわたる内容を整理することがこの表の目的です。

2. プロジェクト活動の確認

誰がどのようにプロジェクトに参加するのか



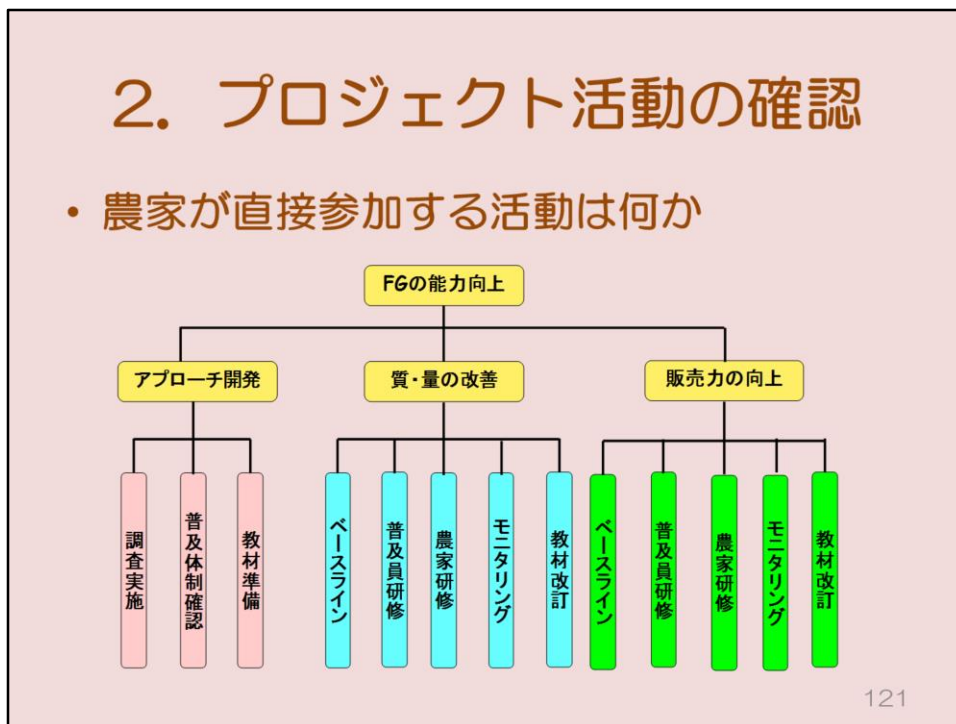
120

集まった情報が項目別に整理出来たら、次にそれらをプロジェクトの枠組みの中で検討します。

地域社会は様々な人々により構成され、多様な問題を抱えています。プロジェクトの活動を踏まえて、調査を行っていても、調査で収集された情報は、プロジェクトの枠組みを超えて、多岐にわたることでしょう。その多岐にわたる情報を慎重に検討し、プロジェクトの活動に直接的な影響を及ぼすと思われる問題点・課題を抽出していく必要があります。

2. プロジェクト活動の確認

- 農家が直接参加する活動は何か




この図は、HPIPのPDMを図にまとめたものです。

調査結果を検討する前に、もう一度、プロジェクトの枠組みについて確認しましょう。そして、計画されている活動の中で、「ジェンダー分析調査」が対象とした受益農家が参加する活動がどれにあたるのか特定してみてください。

これまでの皆さんの経験に基づいて、それぞれの活動の様子を思い浮かべながら、この作業を行うと良いかと思います。

2. プロジェクト活動の確認

- それらの活動で農家は何をプロジェクトから期待されているのか



農家はどのようにプロジェクトに関わるのだろうか？

農家が直接関与する活動
研修への参加
研修技術の活用
⋮

122

農家がプロジェクト活動に参加しているイメージがわいてきたでしょうか？

まず、すぐに思い浮かぶのが、研修に参加している姿、そしてそこで習った技術を自らの農地で実践している姿などではないでしょうか？

他の活動はどうでしょうか？それぞれの活動を実施しているご自身の様子をイメージした際、そこに農家の人たちはいるでしょうか？

3. 収集情報とプロジェクト活動

- 収集情報はプロジェクト活動について、何を語っているのか



農家の行動とプロジェクトの期待は一致しているのだろうか？

農作業の実践者は研修に参加するだろうか？
彼・彼女は研修技術を実践するだろうか？

123

プロジェクト活動に参加する農家の姿をイメージ出来たら、次にもう少し具体的に、プロジェクトとしてその場にいる農家に何を期待しているのかを考えてみます。

例えば、農家研修が実施されている様子を思い浮かべてみましょう。プロジェクトとして研修を行う際に、参加農家に何を望みますか？

まずは、研修に来てほしいという思いがあるかと思います。研修の開催を告知したのに誰も来てくれなかったら、大変です。時間通りに来てほしい、途中で帰らないでほしいから始まって、熱心に参加してほしい、技術を習得してほしい、そして、習得した技術を持って帰って、農地で実践してほしい、そんなことが思い浮かぶかと思いません？

このように考えると、HPIPのように、受益農家の作物収量や作物からの収益の向上を目的とするプロジェクトでは、受益農家がどのようにプロジェクト活動に参加してくれるかが、成功のカギであることが良く分かります。

研修参加以外の活動についても、同じように検討し、皆さんの「期待」を書き出してみてください。

4. ジェンダー課題の特定

- 男性と女性はプロジェクトの期待にどう反応するだろうか

プロジェクトの農家への期待	男性農家	女性農家
研修への参加		
研修技術の活用		
⋮		
⋮		
⋮		
⋮		

124

プロジェクトが、参加農家に何を望んでいるのか書き出すことが出来まじょうか？

書き出すことが出来たら、再度、ここで、ジェンダー分析調査により収集された情報に戻ります。スライド119の表に組み込まれた情報は、農家がプロジェクトの期待にどのように反応するのかを語ってくれているはずで

上記スライド124の表のように、プロジェクトが農家の参加を期待している活動を縦軸に、そしてそれに対して、ジェンダー分析調査結果から読み取れる農家男女の予想される行動を横軸にとり、表を埋めていきましょう。

例えば、研修への参加です。ご自身がある研修に参加するか否か、どう決定されていますか？その研修の内容に興味があるか、仕事の役に立ちそうか、時間が取れるか、会場はどこなのか、上司からの命令か、等々でしょうか？農家も恐らく一緒でしょう。そのような視点から、収集情報を確認してください。

先入観や思い込み、あるいはプロジェクト側の期待ではなく、調査結果が語ることを丹念に拾いだしてみてください。くれぐれも、「素晴らしい技術だから、みんな実践するはずだ」といった思い込みは排除してください。「素晴らしい技術」と思うのはプロジェクト関係者だけかもしれません。本当に農家の人たちはそう思ってくれて、何をも差し置いて、その技術の実践に努めてくれるでしょうか？まして、農家研修に参加する段階では、農家の人たちはどのような技術を教えてもらえるのか、全く知りません。そのような状況の中で、プロジェクト側が自分たちの期待だけで、「農家はこうしてくれるはず」という先入観を持つことはやめるべきでしょう。

4. ジェンダー課題の特定

- プロジェクトの円滑な実施を妨げる要因は何か

プロジェクトから見て農家の予想される行動の何が問題なのか

行政官や普及員は、問題緩和のために行動してくれるだろうか
(意識・技能)

125

表が埋まったら、次は、「プロジェクトの期待」と「農家の予想される反応／行動」に齟齬があるかどうかを見ていきます。

もし、プロジェクトが期待するように農家が行動してくれそうであれば、プロジェクトとして自信を持って、活動を進めていくことができます。一方、どうも期待通りに行動してくれないのではないかと思われたら、カウンターパート機関の職員の意識や技能についてもスライド119の表に基づいて、同様に検討してみてください。

農家の男女がプロジェクトの期待に沿った行動を取るよう、行政官や普及員は、農家を指導する十分な技能や知識を有しているでしょうか？

5. 演習問題

126

それでは、これまでに説明してきたことを確認するための課題に、ここで取り組んでみてください。

演習問題：課題抽出

学習資料3に基づき、以下について整理・検討して下さい

1. 収集情報の整理
2. 農家が関与するプロジェクト活動
3. プロジェクトが農家に期待している役割
4. プロジェクトが農家に期待している役割に対する農家の予想される行動

127

それでは、これまでの説明を参考に、学習資料3の調査結果を上記課題に則って整理してみてください。

6. まとめ

収集情報の整理

項目	収集情報
カウンターパート機関	
ジェンダー政策・制度	
ジェンダー関連活動	
職員の意識・実務能力	
ターゲット・コミュニティ	
文化・規範	
性別役割分担	
- 農作業・マーケティング	
- 家事労働	
- コミュニティ活動	
意思決定への関与	
プロジェクトに対する関心	
農家グループ	

129

表に基づいて、HPIPの調査結果は整理できたでしょうか。

収集情報の整理

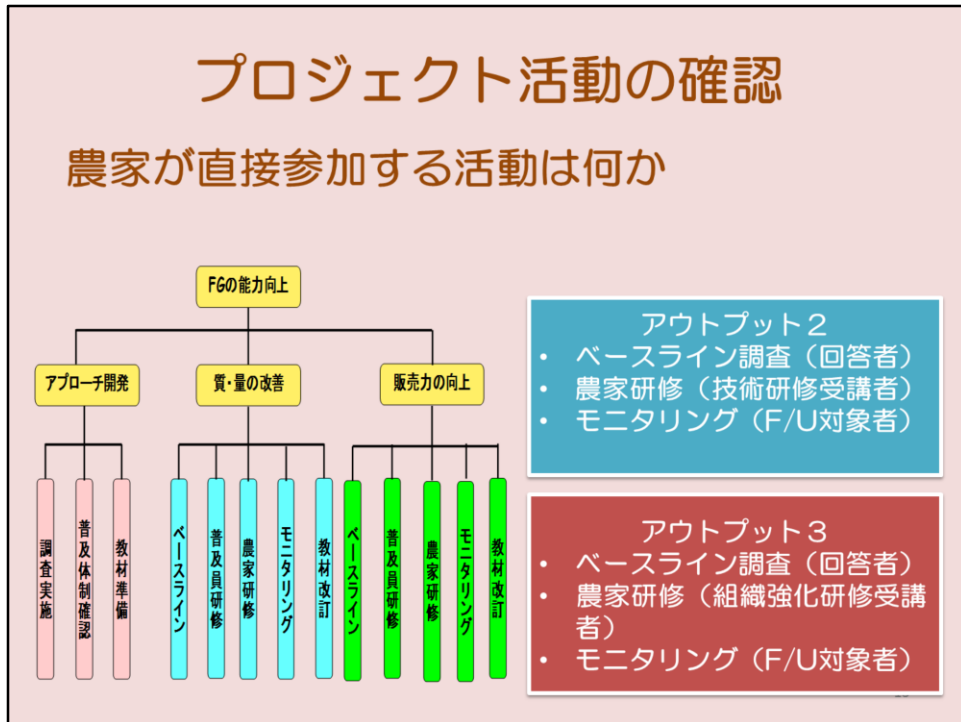
各ステークホルダー の課題

	課題
政府	不十分な予算/不十分な研修体制
普及員	ジェンダー概念に係る誤解/ジェンダー主流化に対する知識・スキルの欠如
農家グループ	少数メンバーによる意思決定/女性の従属的参加
男女農家	女性の過重労働（男女間の不公平な労働分担）/女性が収入の用途を含む意思決定過程に参加できない（インセンティブの欠如）/男女間のコミュニケーション不足

整理された情報からは、プロジェクトの関係者、受益者がプロジェクト活動に参加するにあたり、ジェンダーの側面から上記のような課題があることが読み取れるかと思えます。

プロジェクト活動の確認

農家が直接参加する活動は何か



それでは、農家が参加する活動はどうでしょうか。

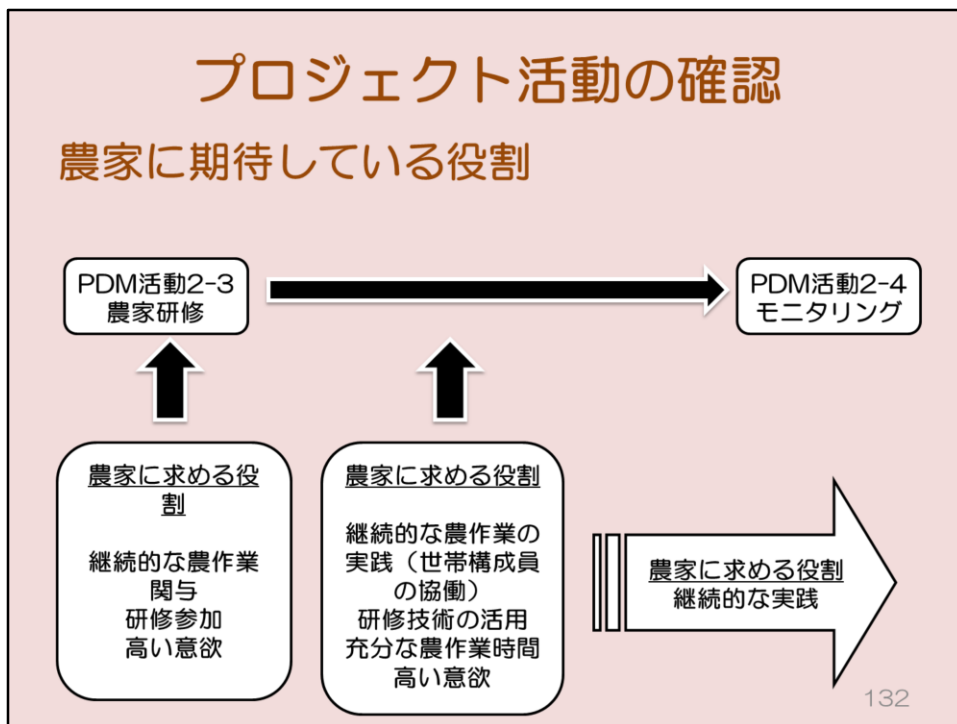
ここでは、農家の活動を上記のように整理してみました。もっと多くの活動に農家が参加すると思われたでしょうか。

例えば、プロジェクトの活動としては農家が参加するのは「研修」であり、「モニタリング」ですが、プロジェクト側としては、「研修参加」の後に、「研修内容の適切な理解」、「世帯内で農作業に従事する構成員全てへの研修技術の共有」、「農地での技術の実践」をしてくれるはずとの期待があり、その結果としての「モニタリング」という流れがあると思います。

言い換えれば、このようなプロジェクト活動としては表面には出てこないけれども、農家に是非してもらわなければならないことがあります。この点について、もう少し詳しく次のスライドで確認してみます。

プロジェクト活動の確認

農家に期待している役割



プロジェクトとして農家に期待している行動は、ここに示しているような事柄が挙げられるかと思います。

こういったプロジェクトの期待がPDMに具体的に記載されることはありませんが、対象農家がこのような行動を取ってくれなければ、園芸作物の生産性向上というプロジェクト目標が達成されないことは明らかです。従って、プロジェクトとしては、「技術」の提供と共に、受益農家はその技術を農地で積極的に実践していく事が出来るような側面支援も併せて行う必要があると言えます。

農家の予想される行動

	男性	女性
農作業への関与	意思決定者	作業の中心
世帯構成員間の協働	限定的	限定的
研修への参加	肯定的	肯定的だが多忙
高い意欲	収入増に期待	収入への関与が少なく、意欲は限定的
研修技術の活用	活用に係る意思決定は出来るが、実践者かどうかは不明	活用に係る意思決定過程への関与は限定的
十分な農作業時間	限定的	多忙なため限定的

133

それでは、改めて、プロジェクトの期待に対して、ジェンダー分析調査から得た情報が何を語っているのかを見てみましょう。

異なる調査参加者が、異なる文言で説明していますが、取りまとめると、上記の表のようになるかと思えます。このあたりが読み取れていると良いかと思えます。

課題の確認

・ プロジェクト目標達成を妨げる要因は何か

プロジェクトから見て農家の行動の何が問題なのか

行政官や普及員は、問題緩和のために行動してくれるだろうか

- ・ 研修技術の実践・継続的活用が不透明（不公平な労働分担／意思決定への関与）

- ・ 適切なジェンダー概念/知識を持つ行政官・普及員の不足
- ・ 予算不足

HPIPの場合、プロジェクトの期待と農家の行動は必ずしも一致していないことが分かりました。

農作業の主たる実践者と思われる女性は、農作業だけではなく、家事をも担っているため、一日中多忙です。これ以上、他の作業に振り分ける時間がないため、農作業に今以上の時間を割きたくないし、割けない、また研修に参加するための時間などない、さらには時間をやりくりして、研修に参加したとしても習った研修技術を農地で使うための決定権を有していないと言ったことが、調査結果から読み取ることが出来ます。一方、男性は時間はありそうだし、農地に係る決定権も有しているけれど、どこまで農作業に真剣に取り組んでくれるか定かではないことが分かります。

カウンターパート機関職員も、ジェンダーの重要性は認識しているようだし、これまでとは異なる方法で農家男女にアプローチしていかなければ、農家の直面する貧困状況を克服できないことはわかっているけれども、では、どうすればよいのかと言ったアイデアや知識があまりないことがうかがえます。

課題の確認

プロジェクトへの負の影響

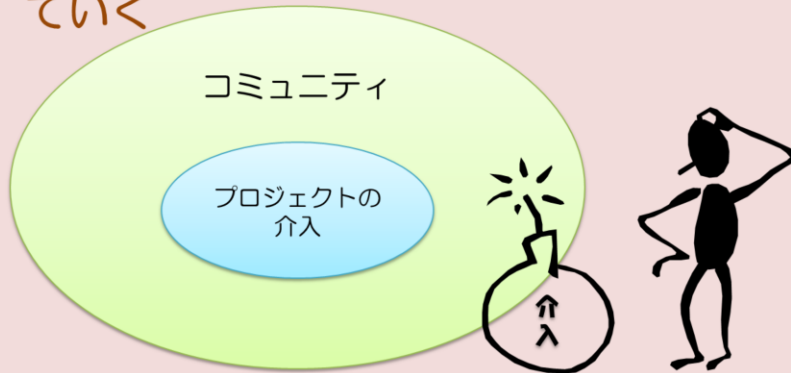
	負の影響
政府	ジェンダー視点のある職員・普及員の不足
普及員	ジェンダー活動の適切な実施が困難
農家グループ	グループに対するメンバーの低い関心・意欲
男女農家	女性の研修参加が困難/研修技術の実践が限定的/研修技術が世帯内で伝わらない

135

これまで見てきたように、カウンターパート機関職員や農家と言ったプロジェクト参加者の現在の状況は、プロジェクト活動の円滑な実施を必ずしも、後押しするものとは言えないことが分かります。

まとめ

- コミュニティという枠組みの中で、プロジェクトの介入を精査し、課題を特定していく



136

いかがでしたでしょうか？

収量増加のための良い技術を提供するだけでは、プロジェクト目標の達成が危ぶまれることがお分かりいただけたでしょうか？

対象コミュニティの人たちは、その地域の価値観に基づいて生活を営んでいます。ジェンダー分析調査はその価値観を理解し、プロジェクトの有効性・効率性を少しでも高めることを目指しています。

別添資料に、能力強化研修参加者による本課題に係るグループワーク結果がありますので、そちらもご参照ください。